

レンタルで時代を拓く

AKTIO

AKTIO

December
No.16

Communication Magazine

AKTIO NEXT

今だからこそ、
鉱山砕石マーケットに挑む！

細分化・高度化する鉱業の現場にレンタル®を！

AKTIO NETWORK

「レンタル会社へのレンタル」に特化
業界のオンリーワン企業に！

Vol.3 株式会社電動舎

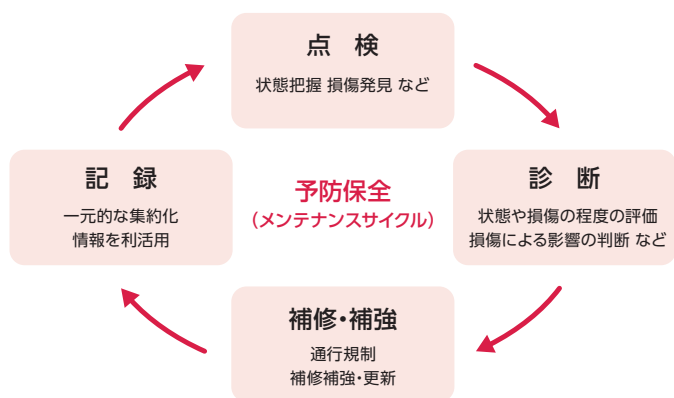
KEY PERSONに聞く ~旗手たちの競演~

高速道路は 未来の夢を見るか

交通インフラのメンテナンスにレンタル®を導入

2020 その先へ

図1 道路の安全を支えるメンテナンスサイクル



出典:国土交通省 関東地方整備局「関東の道路」



1958(昭和33)年頃の高速道路建設工事。晴海通り数寄屋橋付近
写真提供:中央区立京橋図書館

高速道路メンテナンス Highway Maintenance

KEY vol.003 Manabu Ito
PERSONに聞く

////////// 旗手たちの競演

未来へ向け、各分野で挑戦の場を広げるAKTIO
注目の新規事業を担うキー・パーソンが熱く語る!



交通インフラの保守点検にレンサルティング®を導入 高齢化が進む高速道路の安全を全力でサポート

1960年代の高度経済成長期に急ピッチで整備が進み、半世紀が過ぎた今、老朽化が深刻な問題となっている日本の高速道路。日本の経済や人々の生活を支え、災害時には重要なライフラインともなる高速道路の安全をサポートするため、AKTIOは2018年1月、産業設備部 高速メンテナンス課を新設。準備段階から事業の立ち上げに関わったキー・パーソン、伊藤学課長に話を聞いた。

高速道路は1960年代の高度成長期に集中的に整備されました。日本初の高速道路は、1963年に尼崎〜粟東間の約71kmが開通した名神高速道路です。その2年後には小牧〜西宮間約190kmの全線が開通し、さらには1969年に東名高速道路が全線開通したことで、東京・名古屋・大阪の3大都市圏が高速道路でつながることになりました。これらの都市高速網が大動脈となり、その後の日本の経済発展を支えてきたわけです。

しかし、道路や橋梁は、一度つくってしまったばそのまま永久に使えるものではありません。人間と同じで、交通インフラも高齢化します。高度経済成長から半世紀を経て、建設後50年以上が経過する橋梁やトンネルが増え、老朽化や損傷が一気に顕在化してきました。そのため、保守点検が急務となっているのです。

——定期検診を怠って重大な疾病を招かないよう、人間と同じように高速道路にも定期的なメンテナンスが必要なのです。

伊藤 5年に一度の点検で損傷

高齢化の波は道路にも？
高度経済成長から50年
節目を迎える日本の高速

——高速メンテナンス課の新設は、2012年に起こった中央自動車道笹子トンネルの天井板崩落事故をきっかけに、国内の交通インフラに対する危機感が急速に高まったことと関連しているのでしょうか。

伊藤 そうですね。あの痛ましい事故の2年後には道路法が改正され、橋梁やトンネルなどの構造物については5年に一度、国が定める基準によって近接目視による点検を行うことが義務化されました。AKTIOでは10年以上前から橋梁点検用の車両を扱っていましたが、長大橋やトンネルの多い日本の特殊な道路事情に対応し、安全で効率的な保守点検をより強力にサポートするため、高速道路のメンテナンスに特化した部署を設置することになったのです。

——なぜ今、高速道路の老朽化対策が急がれているのでしょうか。

伊藤 もともと日本は欧米に比べモータリゼーションの到来が遅れていたこともあり、日本の

箇所を発見したら、損傷の程度を診断した上で補修・補強を行い、それを記録して次回の点検に役立てます。高速道路を長く安全に使い続けるには、メンテナンスサイクル(図1)の確立が欠かせません。安全で効率的な点検作業は、その第一歩なのです。

産業設備部 高速メンテナンス課 課長
伊藤 学

いとう・まなぶ / 1962年秋田県男鹿市出身。青函トンネルが開業した1988年に入社。秋田県、福島県の営業所で経験を積み、仙台営業所配属後、高速道路会社を担当。その後東北支店で大型橋梁点検車「BT-400」の運用に携わり、2017年4月、高速メンテナンス課の設立を準備するため東京支店へ。2018年1月より課長として高速メンテナンス課を率いる。



KEY PERSONに聞く

vol.003 Manabu Ito

//////////////////// 旗手たちの競演

高速道路のメンテナンスにレンサルティングを導入!



第二次世界大戦期のアウトバーン (1943年撮影)
Bundesarchiv, Bild 146-1979-025-30A / CC-BY-SA 3.0

お手本はドイツのアウトバーン

日本初の高速道路である名神高速道路の建設にあたり、海外から招かれた技術者の一人、クサヘル・ドルシュは、1932年にアウトバーンがケルン〜ボン間で開通した当時の道路局長だった。ドルシュは、車を運転する人がカーブを切りやすく、かつ道路景観としても美しい「クロノイド曲線」をアウトバーン同様、名神高速道路にも採用。起伏が多い日本の地形に高速道路がなじむよう設計を行ったという。



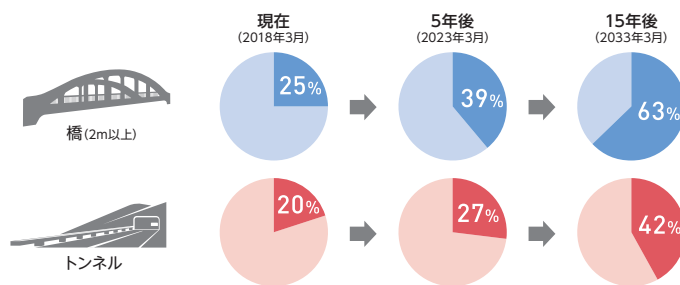
S56XR

要件を私たちに教えてくれたのは、2011年の東日本大震災でした。高速道路は人間の動脈や静脈のようなもので、止まってしまうと経済活動に支障をきたすだけでなく、人々の生活も危険にさらします。救援物資を運ぶにも、鉄道網や湾岸交通、空路が遮断された状態では、道路によって運ぶしか方法はありません。高速道路を車がスムーズに通れる状態にしておくことがいかに大切か思い知らされました。ですから、点検車両の提案を行う際も、安全面への配慮はもちろん、できる限り通行止め、の時間が短くなるよう配慮しています。

——貴重なお話をありがとうございます。立ち上げから1年で着実に成果を上げています。高速メンテナンス事業。近い将来には、AKTIOグループのネットワークを活用したサービスやICT、ロボット技術の導入など、高速道路会社の良きパートナーとして、さらに進化した姿を見せてくれるだろう。

——将来の目標を教えてください。伊藤 高齢化が進む高速道路のメンテナンスを全力でサポートしていきたいと考えています。初期の5年点検は今年度で終了し、来年度より2期目が始まります(5年サイクルでくりかえされます)。今後はメンテナンスサイクルのうち、点検の次に必要な補修の作業にも注力し、除雪や除草・伐採といった、道路の障害物を取り除く活動にも力を入れる予定です。また、首都圏の高速道路会社ともさらににより緊密な関係を構築し、2020年の東京オリンピックでは、しっかりと「おもてなし」の下支えができるよう努めたいと思います。

図2 建設後50年以上経過する橋とトンネルの割合



出典:平成29年度 国土交通省「国土交通白書」



1962(昭和37)年頃の日本橋室町付近
林良一撮影/写真提供:中央区立京橋図書館

構造や環境の異なる現場にレンサルティングで最適な工程や機種を提案

——日本には現在、約70万基の橋梁と約1万本のトンネルがあると言われていて、近接目視を行うのは大変な作業だと思えますが、どのような機械が使われているのでしょうか。伊藤 AKTIOでは、橋梁やトンネルの構造により、さまざまなタイプの点検車両を用意しています。

たとえば国内最大級の大規模橋梁点検車「BT-400」(タダノ)は、多関節の可動式ブームにより、橋の上から高さ5mのフェンスを越えて橋桁の下にもぐりこみ、桁下の点検作業を行うことが可能です。また、ヨーロッパから輸入した高所作業車「S56XR」(フロント)は、地上から54mの高さまでせり上がり、橋脚や桁下を点検することができます。従来は、小・中型車を用いて届く範囲を点検したり、望遠鏡で「望遠目視」していた作業が、この機械によって大幅に省力化されました。さらに、来期へ向け期待しているのが、下部へのアプローチ機能とゴンドラ

ラ機能を融合した「GC1240」(日本ビソ)です。このゴンドラ車は、これまで届かなかった地下深さ50m以上を超える橋脚面にもアプローチできるといった特長を持っています。

——構造物の種類や周囲の環境に応じ、それぞれに特殊な機能を持つ大型車両が活躍しているのです。伊藤 現場の声に応じて新たに登場した機械もあります。「YX55SG」は、トンネル天井部(ジェットファン)の点検・脱着から運搬を1台で可能にした高所作業車です。

このように、現場ごとに異なる構造物の特徴と環境を正確に把握し、少ない人手で安全かつ効率的に作業できる工程と最適機種を選んで提案することが私たちの使命です。

——まさに「レンサルティング」が求められる仕事ですね。伊藤 その通りです。点検する箇所や周囲の環境によっては1台で対応することが不可能なケースもあります。私たちは現在、首都圏を主なターゲットとしていますが、地方と道路事情

が求められる仕事ですね。伊藤 その通りです。点検する箇所や周囲の環境によっては1台で対応することが不可能なケースもあります。私たちは現在、首都圏を主なターゲットとしていますが、地方と道路事情



YX55SG

東日本震災を教訓に高齢化の進む高速道路を全力でサポートしたい

——高速メンテナンスの業務にあたり、一番大切にしていることは?伊藤 できる限り道路を「止めない」ことです。高速道路の重

が大きく異なります。例えば渋滞緩和のため、点検は夜間に行います。そこで安全を考慮しました。また、2018年2月の積雪で都市交通はパニックとなり、その対策として雪や氷を溶かす路面乾燥車(マグマジエット)を路面を傷めず乾燥できるものに改良するなどの開発を行ったりしています。また、特殊な点検車両を操作するオペレーター育成にも力を入れており、メーカーの協力を得て、機種ごとに育成プログラムを用意しています。



路面乾燥車



BT-400

高速メンテナンス課は伊藤課長、亀井専任次長、石井専任課長、市原さんを含め総勢7名。国内を東日本、中日本、西日本に3分割し、高速道路の維持・管理を行うグループ企業を中心に営業を行っている



広域営業部に鉱山機械課を新設。
石灰石鉱山・砕石山にレンタルティング®を導入!



鉱山砕石マーケットに

挑む!



資源小国といわれる日本で、自給率100%を誇る鉱物資源が「石灰石」である。セメントや鉄鋼の主・副原料として使用されるほか、コンクリートやアスファルト、飼料、薬品、さらには身近な化粧品、食品まで、その用途は実に幅広い。AKTIOは2年前、建機レンタル会社にとって長らく未開拓のマーケットだった石灰石鉱山のリサーチに着手。2018年には広域営業部に鉱山機械課を新設し、鉱山砕石マーケットへのレンタルティング®導入を開始した。

**高純度の良質な石灰石は
日本で唯一、自給可能な鉱物**

日本の鉱山といえば、夕張炭鉱や佐渡金山などの観光鉱山を思い浮かべる人が多いのではないだろうか。古くは奈良時代から近代にかけて大量の金、銀、石炭を産出した日本の鉱山だが、高度経済成長期以降はその多くが廃坑・閉山に追い込まれた。しかし、今でも資源枯渇に悩まされることなくフル操業を続けている鉱山がある。それが日本で唯一、自給可能な鉱物資源である石灰石鉱山だ。



武甲山(埼玉県秩父)は日本屈指の石灰石鉱山。可採鉱量は約4億トンといわれる

炭酸カルシウムを主成分とする石灰石は、海中のサンゴや貝殻が堆積してきた「海からの贈り物」。数億年前、太平洋プレートとフィリピン海プレートが大陸側に隆起して形成された日本列島は、大陸側からの混ざりものが少ない高純度で良質な石灰石の宝庫なのである。

現在、国内では約250の石灰石鉱山が稼働しており、生産量は年間約1億4000万トンに及ぶ。しかしながら鉱山砕石業界では、重機等の設備投資は自社で行うものという考え方が根深く、加えて鉱山の現場への立ち入りにくさ、専門性の高さなどがネックとなり、これまでは大手レンタル会社との接点がなかった。

**現場の「困った!」に迅速対応
石灰石鉱山砕石の良き
パートナーに**

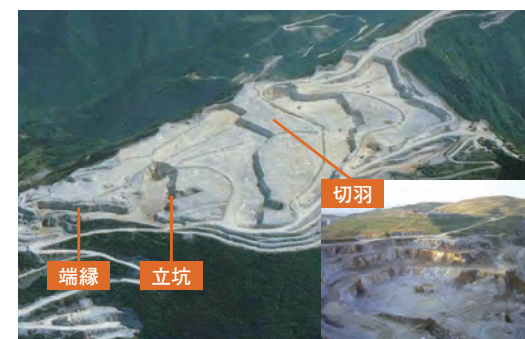
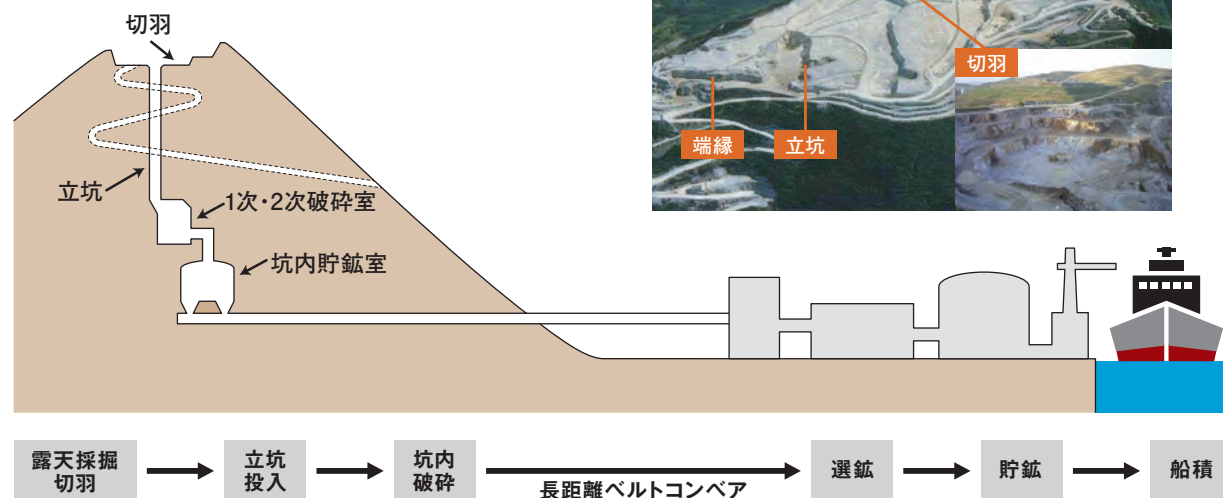
AKTIOは、将来的にも安定的な生産が見込まれる石灰石鉱山及び砕石山の潜在的なレンタル需要に着目。約1年のリサーチ期間を経て2017年11月、大手鉱山会社9社を招き、東京DLセンター視察会を開催。好感触を得て、2018年には広域営業部に鉱山機械課を新設し、各支店にも順次担当窓口を設置して

全国の鉱山砕石マーケットに対応できる体制を整えた。

実は新規マーケットの開拓にあたり、信頼を勝ち得るきっかけとなったのは2016年夏、担当者が秩父(埼玉県)、葛生(栃木県)の鉱山をリサーチ中に起こった台風と落雷だったという。台風時には調整池、沈殿池の水量を確保するための水中ポンプを、また落雷が発生した鉱山には避雷針PDCEの導入をいち早く提案。ひと通りの重機や機器類が揃っている鉱区であっても、トラブルや災害発生時、また短・中期の機器レンタル需要は高いことが判明すると同時に、緊急案件への迅速な対応で鉱山側にも「レンタルティングは役に立つ」という認識を持ってもらうことができた。

現在では取引先も大幅に増加し、端縁作業用に0.7m³クラスの油圧ショベル、維持管理作業用に高所作業車、また水平坑道には投光器やコントラファンなど、多数の機器を導入。今後は各作業工程の生産性向上やコスト削減につながる提案など、進化したレンタルティングでさらなる顧客増を目指すという。スタートしたばかりの「鉱山レンタルティング」から目が離せない。

鉱山砕石における作業工程



レンタルディング®で未来を築くAKTIOグループ企業の紹介

電動舎の企業理念

建機レンタル業界において、
質量ともに他社の追従を許さない
独自のサービスを提供することにより、
社会に貢献する。

2003(平成15)年、AKTIOグループの一員になった電動舎だが、その歴史は長い。1965(昭和40)年、神奈川県横浜市で創業し、8年後の1973(昭和48)年には横浜に本社工場も完成。半世紀以上にわたり、建設業界に貢献し続けてきた。

電動舎では現在、クレーン、高所作業車、油圧ショベルを中心に豊富なラインナップを用意している。クローラークレーンは2・9t、4・9t、カニクレーンは1・7t、2・9t、高所作業車は4m、54mのバリエーションを持ち、油圧ショ

ベルは電動式機械も所有。これらはいずれも同社が得意とする商品である。

こうしたニーズの高い商品のほか、一般的なレンタル会社では保有が難しい特殊な建設機械の導入にも積極的にチャレンジ。建設機械の「質」と「量」の増強に努めている。

また、豊富なラインナップと保有量を誇る電動舎は、「お客様に安全な機械を、安心してお使いいただきたい」という思いから、それぞれの機械に特化した整備体制づくりに力を入れてきた。丁寧に整備するだけでなく、可能な限り再塗装も行った上で出荷を行う。高付加価値を目指すサービスには、各レンタル会社からも大きな信頼が寄せられている。

全国32拠点のネットワークと垣根のないアットホームな社風も電動舎の強みだ。常に情報のアンテナを張りめぐらせ、社員同士が気軽に話し合いを重ねながら、的確にニーズを把握してお客様の「困った」に添えていく。今後はさらに提案力に磨きをかけ、目指すは同業社専門ビジネスの「オンリーワン」企業だ。

AKTIO NETWORK Vol.3 | DENDOUSYA CORPORATION

株式会社電動舎

「建設機械レンタル会社へのレンタル」に特化
高付加価値の独自サービスで、
他の追従を許さない存在に!

「同業者向け専門の建機レンタル会社」というユニークなビジネスを展開し、
来年1月には創業54年目を迎える電動舎。
好調の建機レンタル業界を支える縁の下の力持ちとして、
現状に甘んじることなく、さらなる企業価値の向上を目指している。



超高揚程 床高54m S56XR

次世代育成支援行動計画

少子化の急速な進行を背景に、政府・地方公共団体・企業等が一体となって対策を進める目的で平成15(2003)年に成立・交付された「次世代育成支援対策推進法」。電動舎では、次代の社会を担う子供が健やかに生まれ、育成される環境の整備に資するべく、下記の行動計画を策定。従業員の仕事と子育ての両立を支援していく。

■ 計画期間 2017年4月1日～2020年3月31日

■ 計画内容

子育てを行う労働者の職業生活と家庭生活の両立を支援するための雇用環境の整備

産前産後休暇、育児休業、育児にともなう短時間勤務、就学前の子の看護休暇、介護休業、介護にともなう短時間勤務等、諸制度の周知

働き方の見直しに資する労働条件の整備

目標② 年次有給休暇取得の推進

ニーズに合わせた多彩なラインナップ! 電動舎の主な取扱商品



- 荷役・揚重機械 クローラークレーン、カニクレーン、フォークリフト
- 高所作業車 タイヤ/クローラ、バッテリー式/エンジン式、直伸/屈伸/Z型、トラック式
- 掘削機械 スタンダード、超小旋回/後方小旋回、ミニ/電動式、解体ロボット
- 運搬・整地機械 キャリアダンプ、タイヤショベル、コンパインドローラ、搭乗式清掃機
- 発電機・コンプレッサー 大型/中型、オイルフェンサー一体型、コンプレッサー各種
- レンタカー ダンプカー、トラック



株式会社電動舎 概要

本社 神奈川県横浜市鶴見区大黒町9-11
支店 盛岡、仙台、埼玉、千葉、横浜、名古屋、大阪、九州
営業所 青森、千葉、厚木、新潟、浜松、神戸、広島、熊本など
創業 1965年1月
設立 1971年1月
資本金 2億7,900万円
年商 125億1,300万円(2017年12月実績)
従業員 178名(2017年12月期)

北海道から九州まで全国 **32** 拠点

「縁の下の力持ち」
建機レンタル業界を支える

建機レンタル業界は、災害復興やオリンピックの準備などで大規模工事が増加し、かつてない好況を迎えている。しかし、需要の急激な増加は、在庫リスクと隣り合わせだ。しかも建機の場合、ただ保有するだけでなく、定期的な保守点検や整備の人手が欠かせない。今、需要があるからといって、高額の機械をむやみに購入するわけにはいかないのだ。

では、「レンタルの注文が入った

が機械が足りない」「保有していないニッチな機械が必要になった」などの「困った」事態が起きたとき、レンタル会社はどうするか。そのときこそ建機レンタル業界の「お助けマン」、電動舎の出番だ。

電動舎は建機レンタル会社へのレンタルを行う「同業社向け専門」の建機レンタル会社として独自の地位を築いている。重機を扱う同業社向けレンタル会社としての企業規模はトップクラス。北海道から熊本まで全国に32拠点を展開し、取引先は全国同業社約2600社の各営業店に及ぶ。

第42回全国育樹祭記念行事

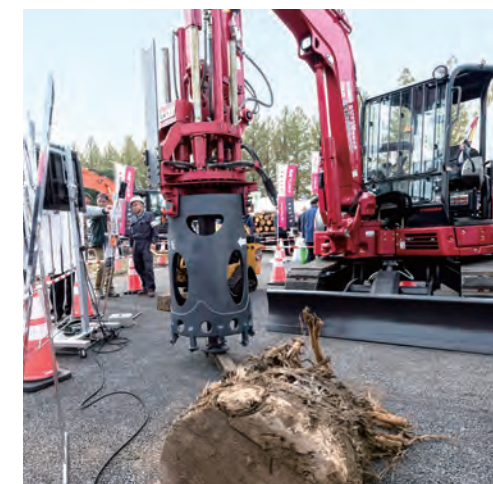
「2018森林・林業・環境機械展示実演会」に出展
林業分野にレンタルディング®で新たな施業モデルを提案

AKTIOは、11月18日、19日の両日、東京都あきる野市で開催された東京都および（一社）林業機械化協会主催の「2018森林・林業・環境機械展示実演会」に参加。伐採現場から運んだ積荷をそのままトラックへ移し、ノンストップで作業する「FUVフォワーダ」「FUVスタントラック」や、第43回発明大賞で考案功労賞を受賞した抜根機「根こそぎ切るソー」など、最新鋭の機械を多数出展し、デモンストレーションを行った。

この展示実演会は、林業の人手不足や環境問題を背景に、高性能な林業機械や環境保全に役立つ機械類を展示し、性能を紹介するとともに、森林・林業・環境機械の安全使用と普及促進を図るもの。AKTIOは、現場の作業を効率化し、生産性を飛躍的に向上させる高性能の林業機械のほか、ICTを導入した山林業務管理システム「Forest Mobile」など、レンタルディングによる新たな作業モデルの提案を行い、林業分野でも高い評価を得た。



12m先の木材もがっちりつかめる「ロングリーチグラブ」。従来は7~8mだったリーチが飛躍的に向上。効率的な集材作業を実現する



抜根作業の救世主「根こそぎ切るソーII型」。従来の騒音や木くずの飛散問題を解決し、安全・スピーディに作業できる



フォワーダからトラックへ、ノンストップ作業を実現する「FUVフォワーダ」「FUVスタントラック」



道幅の狭い日本の林道でも、その場でトラック方向転換できる「くるっとダンプ」



日本初登場の「グラトラ」こと「グラブ付きのトラック」にも注目！3トン車ベースのコンパクト仕様で、スピーディに山奥まで到達できる

会場 東京都あきる野市 旧都立秋川高等学校跡地
会期 2018年11月18日、19日
主催 東京都／一般社団法人 林業機械化協会



いきいきと働くAKTIOの仲間たちを紹介するこのコーナー。
今回は、西東京支店の3営業所で活躍する若手の男女3名にご登場いただいた。

AKTIO PEOPLE 輝け！AKTIO人

AKTIOは、どんなリストでも「あいうえお順」の一番上。
私もお客様の「ありがとう」にやりがいを感じつつ、
一番上を目指してがんばります。

—林さんは35歳の若さながら、このエリアで売上ナンバーワンの営業マンだそうですね。
林 建設機械のレンタルディングは自分一人ではなく、多くの人の力で成り立つ仕事です。みんなの協力あってこそだと思っています。
—チームワークを築くための秘訣は？
林 私は小学校の頃から高校まで、ずっと野球に打ち込んできました。組織の中で働くために必要とされる協調性や、挨拶などの基本がそこで身についたのではないかと思います。
—AKTIOに入社したきっかけは？

林 事業を全国展開している会社を希望していたこと、それから、就職活動で企業の情報を調べている時も、AKTIOは必ず一番上に出てくるんです、あいうえお順で（笑）。ずっと野球少年だったせいか私は負けず嫌いで、何事も「一番」を目指したいと思っています。そういった意味で、どんなリストでも一番上にあるAKTIOに惹かれたのかもしれません。
—印象に残っているできごとは？
林 入社2年目で新規の大型現場を任せてもらったことです。上司に「やってみろ」と言われて



西東京支店 調布営業所 所長代理
林 裕介さん 2005年入社

感激しました。その経験は今でも大きな糧になっています。今後もお客様の「ありがとう」にやりがいを感じつつ、一番を目指してがんばります。
—これからも期待しています！



西東京支店 八王子営業所
寺川 啓太さん 2013年入社

「AKTIOを選んで良かった」と言われるような仕事をしたい。
そして人望ある人間に成長し、将来は所長そして支店長になりたいです。

—寺川さんは、自衛隊の出身だそうですね。
寺川 自衛隊には任期制といって、一定期間の任期を終えた後、民間企業に再就職する制度があります。私は陸上自衛隊の任期制隊員とし

て旭川駐屯地で2年間勤務し、その後AKTIOに入社しました。きっかけは、AKTIOが東日本大震災の後、さまざまな支援を行っていることを知り、自分もその一員として力になりたいと思ったことです。
—自衛隊での経験は役に立っていますか？
寺川 自衛隊での訓練はハードでしたが、おかげで体力が向上しました。規則的な生活や団体行動での規律も身についたと思います。それに元自衛官というのは、雑談の際のネタとしても食いつきが良く、営業にも役立っていますよ（笑）。

—どんな時にやりがいを感じますか？
寺川 苦勞した現場で、お客様から感謝の言葉をいただいた時です。その会社から草野球やバーベキューに招待された時は本当にうれしかったです。お客様から、「AKTIOを選んで良かった」と言われるような仕事がしたいですね。
—今後の目標は？
寺川 まずは売上の構築。そして人望ある人間に成長し、将来は所長そして支店長になりたいです。
—頼もしいですね。これからもがんばってください。

一番うれしいのは、お客様からの「ありがとう」
将来は、何でもこなせるスーパー事務員になりたいです。

—入社2年目ですね。入社後、何か発見は？
宮崎 入社後はいつの間にか、工事現場を見かけるたびに「AKTIOの機械は入っているかな」と探してしまうほどAKTIO人になっていました。少し意識して目を配ってみると、けっこうあちこちでAKTIOの機械が活躍しているんですよ。
—現在のお仕事を教えてください。
宮崎 請求書発行や入金確認、修理見積作成、電話や来店客の対応など、事務全般を担当しています。お客様からの電話を受けることが多いのですが、私は学生時代にコールセン

ターでアルバイトをしていたので、その時の経験が役に立っているのではないかと思います。
—やりがいを感じるのはどんな時ですか？
宮崎 お客様から「こんな感じの機械が欲しい」とご注文をいただき、いろいろ調べてご提案した末に注文が確定して、「ありがとう」と言われた時はうれしかったです。入社前、機械のことはまったくわからなかったのですが、今では実機を見て機械名を答えられるようになりました。
—宮崎さんの未来予想図は？
宮崎 建設業界は今後、ICT化が進んで作業員の負担が減り、機器も進化してレンタル需要

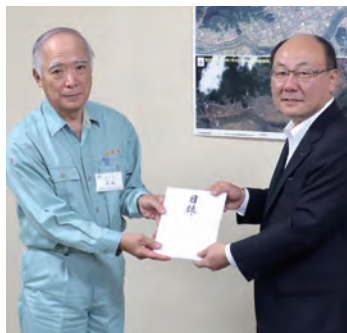


西東京支店 町田営業所
宮崎 百子さん 2017年入社

も伸びていくと思います。将来は私も何でもこなせるスーパー事務員になって、売上に貢献していきたいです。
—その夢、ぜひ実現させてください！

西日本豪雨で甚大な被害を受けた 広島、岡山、愛媛に支援金を贈呈

AKTIOは、2018年7月の西日本豪雨で大きな被害を受けた広島、岡山、愛媛の被災地に発電機や重機等の機材提供を行うなどの支援を行ってきた。災害の大きかった広島市、安芸郡坂町、竹原市、三原市、安芸郡海田町、呉市、倉敷市、大洲市、宇和島市の9市町村を訪問し、合計1,300万円の支援金を贈呈。AKTIOでは今後もさまざまな形で被災地の復興支援を行っていく。



左:倉敷市副市長 河田育康様
右:小沼直人社長



左:大洲市市長 二宮隆久様
右:小沼直人社長



今日も
ごあんぜんに
みんなで守る、みんなの安全

+ 今回のテーマ

冬季の転倒防止対策

日頃の安全対策に役立つ情報をご紹介します！
一人ひとりがしっかりと意識をもって
安全な職場を実現していきましょう。

凍結による転倒リスクが高まる冬季、しっかり予防してSTOP! 労働災害 ～厚生労働省と労働災害防止団体は「STOP! 転倒災害プロジェクト」を推進しています～

冬季は寒冷な気候や積雪、凍結などにより、労働災害発生
のリスクが高まります。この時期、特に気をつけたいのが転倒
災害。転倒災害は実に労働災害全体の4分の1を占めており、
年間3万人近くの方が、転倒したことで4日間以上会社を休ん
でいます。転倒災害の典型的なパターンは、床面の凍結のほ
か、水や油の飛散などによる「**滑り**」、凹凸や段差、放置された
荷物などによる「**つまずき**」、大きな荷物を抱えるなど足元が
見えない状態での作業による「**踏み外し**」の3つ。大きなケガ
につながることも多い転倒災害を職場全体で予防するため、
右のチェックシートで転倒の危険をチェックし、常に安全を
心がけましょう。



職場での
転倒事故を
減らしましょう

冬季の転倒防止はココがポイント!

- 天気予報に気を配り、寒波が予想される場合は早めに対策を。
- 時間に余裕をもって作業を行い、あわてずに歩行しましょう。
- 駐車場の除雪・融雪は完全に、また、出入口には細心の注意を。
- 危険マップの作成、適切な履物などの教育をしっかり行いましょう。

転倒災害防止のためのチェックシート

- | | |
|---|--------------------------|
| ① 通路、階段、出口に物を放置していませんか? | <input type="checkbox"/> |
| ② 床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、
その都度取り除いていますか? | <input type="checkbox"/> |
| ③ 安全に移動できるように十分な明るさ(照度)が確保されていますか? | <input type="checkbox"/> |
| ④ 転倒を予防するための教育を行っていますか? | <input type="checkbox"/> |
| ⑤ 作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、
かつ、ちょうど良いサイズのものを選んでいませんか? | <input type="checkbox"/> |
| ⑥ ヒヤリハット情報を活用して、
転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか? | <input type="checkbox"/> |
| ⑦ 段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す
標識をつけていますか? | <input type="checkbox"/> |
| ⑧ ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか? | <input type="checkbox"/> |
| ⑨ ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか? | <input type="checkbox"/> |

※厚生労働省 転倒チェックシートより

編集後記

11月に箱根の大涌谷にいきました。「大涌谷の黒たまご」を初めて食べました。黒たまごというだけあって本当に真っ黒で、恐る恐る殻を割ると真っ白なゆでたまごが現れました。真っ黒なものビックリしますが、もう1つビックリしたのが1個食べると7年寿命が延びると言われていること。それを聞いたら、味わって食べようと思いき、じっくりゆっくり食べました。

実は、私は生たまごが苦手なのですが、ゆでたまごは大好きで、1日2個食べています。たまごが持つすごい効能は、老化防止や脳機能の活性化、

細菌からの感染予防(風邪予防など)、アルコール分解促進、代謝活動の促進、疲労回復など様々なものがあり、栄養価の高い食品です。調理方法も豊富で、ゆでたまご・半熟たまご・目玉焼き・たまご焼き・オムレツ・スクランブルエッグなどいろいろな食べ方が楽しめます。これはもう積極的に食べるしかないですね!

私も食べ過ぎには注意しながら、これからもたまごを美味しく頂きたいと思います。

営業企画部 広報課 成澤



今号の表紙写真

高度経済成長時に集中的に整備された日本の高速道路。50年の時を経て老朽化や損傷が一気に顕在化。オリンピックを控えた日本では、保守点検が急務となっています。高齢化が進む高速道路を守り、世界に誇れる道路を維持していくようではありませんか。